

## 中国分科会・第14回会議 in 上海 開催報告

日時：2010年3月5日（金）  
場所：上海環球金融中心 会議室  
日程：13：00～14：30 分科会会議  
15：00～17：00 金橋輸出加工区視察  
参加：22社29名（日本からの事務局2名除く）

中国分科会は、2006年6月に上海において第1回会議を開催して以降、基本は北京と上海の2都市にて交互に開催（紹興、深圳での開催実績もあり）し、今回で14回目の会議となった。

### 1. 会議について

#### 1) 事務局からの報告

昨年11月に行われた「第2回（臨時）総会・理事会」で決議された、当協議会の運営方針についての報告を行った。樋口会長新体制と組織、新たな活動への取り組み、会員数の推移。2009年度の活動実績と2010年度の予定等を説明。



#### 2) 参加者からの発言

企業数として22社が出席し、企業形態としては日中の合弁会社、日系企業の中国法人、上海事務所、また中国の民間企業などの参加があった。各参加者は中国分科会を通じた情報交流への期待が大きく、異業種間の情報交換を活発に行いたいというものや政府との関係強化、情報の入手を期待するとの意見があった。

### 2. 視察について

金橋輸出加工区の視察では、上海金橋輸出加工区開発会社の辺副総経理の出迎えを受け、その後会議室にて開発区の状況について詳細に説明をいただいた。

#### 1) 金橋輸出加工区の概要

金橋輸出加工区は上海浦東地区の4つの開発区の内の一つ。浦東新区の中部に位置し、企画用地面積が27.38 K m<sup>2</sup>で、開発された面積が23.72K m<sup>2</sup>。北区と南区に分かれ、今回視察をした北区は工業エリア16K m<sup>2</sup>、碧雲国際コミュニティエリア4K m<sup>2</sup>。

工業エリアは、柱となる 4 つの産業「電子情報」「自動車及び部品」「家電製品」「生物医薬及び食品」を制定し、その大手企業を誘致してきた。碧雲国際コミュニティエリア内には低層、中層、高層の住宅、商業、オフィスの計画や高齢者施設の建設が予定されており、住宅開発においては、日本の企業の事業参加も予定されており、既に具体的な打合せが進んでいるとのこと。



## 2) 金橋輸出加工区の視察

住宅エリア、商業施設、スポーツ施設などの案内をいただいたが、当日はあいにくの雨天で、マイクロボスの中からの視察となった。



碧雲国際コミュニティエリアの開発計画の一例